

令和 8 年度那須中央中学校避難所設営体験実施要領(全体版)

◆実施日時 令和 8 年 11 月 9 日 (月) 13 : 30～15 : 05

◆実施場所 那須町スポーツセンターメインアリーナ

◆体験目的 (1) 避難所生活をイメージできる (2) 避難所用資機材の組み立て方を学ぶ

◆災害想定 栃木県北部を中心とした震度 6 強の地震が発生。これにより建物の倒壊のおそれや土砂災害発生危険が高まっている。これを受けて、那須町役場から町内全域の住民に対し、避難指示が発令されたという想定で、避難所として開設されたスポーツセンターにおいて避難所設営体験を行うもの。

◆実施主体 那須中央中学校 2 学年 85 名
自主防災組織 数名
防災士 数名
※自主防災組織及び防災士については、30 名程度を想定

◆協力 那須町役場職員 13 名

◆観覧者 自治会役員 数名

◆タイムスケジュール及び実施内容

1. <戸別受信機への放送> 10 : 00

- ・今回の体験は、「栃木県北部で震度 6 強の地震が発生し、土砂災害発生危険性が高まっており、町から避難指示が発令されたという状況」を想定して行う。そのため、避難指示を促す放送を体験実施前に流す。(職員室に設置の中央中学校戸別受信機のみへ放送)
- ・学校においては、放送が流れたかどうか確認を行い、結果について役場へ報告する。

2. <集合> 13 : 30

- ・生徒はスクールバスを使用し、那須町スポーツセンターに集合
- ・防災士、自主防災組織、自治会役員は各自集合
- ・那須町スポーツセンター入口に設置してあるビニール袋に靴を入れ、メインアリーナ内壁沿いに置き、上記時間までにメインアリーナに整列

3. <説 明> 13：30～13：40（10分）

- ・役場総務課危機管理係職員から、避難所をテーマにした講話及び設営体験についての説明（流れや注意点）を行う。

4. <設営体験> 13：40～14：40（60分）

①簡易テント式トイレ組み立て 13：40～14：00（20分）

- ・各クラス2個ずつ（3組×2個＝6個）組み立てる。
- ・防災士、自主防災組織においても、2個組み立てる。
（1個は、要配慮者用トイレを組み立てる）

～各班に分かれ、それぞれの体験場所へ移動～

②下記資機材を組み立て 14：00～14：40（40分）

●段ボールベッドセット

- ・各班1個ずつ組み立てる。

●簡易ベッド

- ・各班2個ずつ組み立てる。

●パーティション(2種)

- ・2種類組み立て（段ボール・ワンタッチ）
- ・各班1個ずつ組み立てる。

5. <講 評> 14：40～14：45（5分）

- ・最初の説明の隊形に並ぶ
- ・役場総務課危機管理係職員から、全体を通しての講評を行う

6. <片 付 け> 14：45～15：05（20分）

- ・時間内にできる限りの片づけを行う。
- ・生徒は時間になったら、途中でも片付けを終了する。
- ・防災士、自主防災組織の参加者は可能な限り片付けを手伝う。

7. <生徒解散> 15：05

- ・スクールバスの時間もあるため、基本的には時間厳守